

## 31. ENGIE (旧 GDF SUEZ)

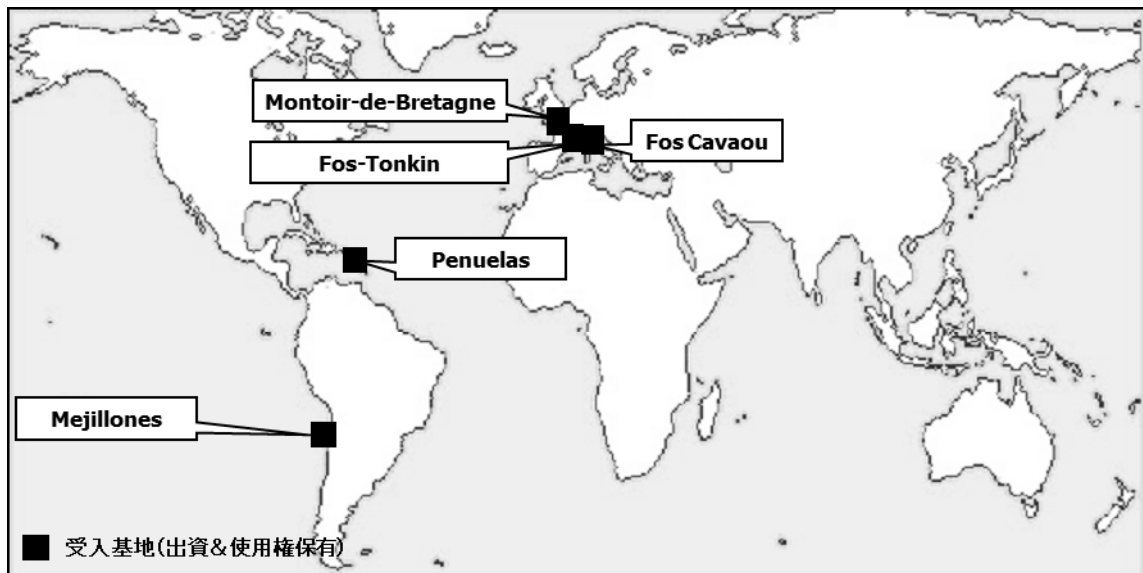
### (1) 企業概要

Engie は、仏国政府が同社株式の 23.64%を保有する、世界最大級のユーティリティ企業である。前身は、2008年7月に仏 Gaz de France (フランスガス公社) による仏 Suez の吸収合併の結果、誕生した GDF SUEZ である。同社は、2011年2月に、英 International Power を買収、2015年4月には社名を Engie とした。

独立系発電事業者世界最大手として、2019年末時点で9,680万kWの発電設備を有する。その内、天然ガス火力発電は5,270万kW (55%)、再生可能エネルギーは2,690万kW (28%) を占めている。2019年のガス販売量は83.2 TWh (7.5 Bcm/y、前年比5.8%減) であり、電力販売量は38.8 TWh (前年比0.5%減) であった。

2017年11月、Engie は自社が保有する LNG 上流・中流事業を仏 Total に売却することで合意した。売却の対象は、Engie が米 Cameron LNG 等に権益を有する液化プロジェクト、LNG 長期売買契約、LNG 船団、欧州の LNG 基地に保有する再ガス能力の使用権である。2018年7月、この売却は完了した。2018年2月、Engie の E&P (上流) 事業子会社 Engie E&P International に関して、英国 Neptune Energy への売却が完了した。これにより Engie が手掛ける上流ビジネスは、アルジェリアで Neptune Energy が操業する Touat プロジェクトへの少額出資のみとなった。

ENGIE の LNG 受入基地図



### (2) LNG 関連

Engie は、同社全額出資子会社 Elengy を通じて、仏国内で3ヶ所の LNG 受入基地を操業しており、気化容量合計 21.25 Bcm を有する欧州第2位の LNG 受入基地事業者である。2019

#### IV. 主要企業別 LNG 事業動向

年 10 月、Elengy は Fos Cavaou LNG 基地にて、LNG タンカートラック及びバンカリング船舶への積み込みサービスを開始した。Fos Tonkin 基地も積み込み設備を有する。

#### ENGIE が出資またはキャパシティ使用権を保有する受入基地

国名	基地名	出資者	受入能力 (万トン/年)	受入開始
フランス	Fos-Tonkin (Fos-sur-Mer)	Elengy	404	1972年
	expansion		220	2014年
	Montoir-de-Bretagne	Elengy	735	1980年
	Fos Cavaou	Fosmax LNG(Elengy 100%)	600	2010年
チリ	Mejillones/ Offshore(LNGRVs)	ENGIE 63%, Inversiones Ameris Capital AGF 37%	147	2010年
プエルトリコ	Penuelas	EcoElectrica (Engie 50%、Naturgy 50%)	276	2000年

#### (3) 今後の戦略

Engie は、気候変動問題、低炭素社会実現に向けた取組みを積極的に推進中であり、電力、ガス、エネルギーサービスの 3 分野をコア事業と位置付けている。

電力事業では、2019 年 4 月、東京ガスと再生可能エネルギー合弁会社をメキシコで設立することで合意し、同年 12 月、共同開発運営会社 Heolios EnTG の株式を両社 50%ずつ取得した。

ガス事業では、Engie の伝統的な分野である LNG 下流・ガス供給事業を推進すると共に、輸送・貯蔵分野における技術革新、及びバイオガス、Power to Gas、小規模 LNG、輸送燃料用 LNG、水素等の取組みを進めていく方針である。Engie は、欧州第 2 位の LNG 受入基地事業者であり、欧州第 1 位の地下貯蔵量 (12.2 Bcm)、及びガス供給網を有する欧州最大手のガス供給事業者でもある。引続き、ガス・電力分野を主導するエネルギー事業者として、2019~2021 年にかけて 30~33 億ユーロを投じる方針である。2020 年 5 月、バイオマスコジェネレーションプラント等を所有・運営するオーストリア Naturwärme Montafon Biomasseheizkraftwerk 社を買収し、年間最大 24 GWh の熱供給が可能となった。

エネルギーサービス分野では、デジタル技術も含めた包括的なエネルギーサービスに注力する方針である。Engie は 2019 年 7 月、Engie Impact を設立した。世界中の政府、都市、企業向けに、持続可能性の専門知識とデジタル技術力によるコンサルティング、及びサービスを手掛けていく方針である。